

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成25年8月8日 (2013.8.8)

【公表番号】特表2012-530825(P2012-530825A)

【公表日】平成24年12月6日 (2012.12.6)

【年通号数】公開・登録公報2012-051

【出願番号】特願2012-516660(P2012-516660)

【国際特許分類】

C 0 8 L 9/00 (2006.01)

C 0 8 L 7/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/04 (2006.01)

C 0 8 K 3/36 (2006.01)

C 0 8 K 3/06 (2006.01)

C 0 8 K 5/07 (2006.01)

C 0 8 K 5/098 (2006.01)

C 0 8 K 5/18 (2006.01)

B 6 0 C 1/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 9/00

C 0 8 L 7/00

C 0 8 K 3/04

C 0 8 K 3/36

C 0 8 K 3/06

C 0 8 K 5/07

C 0 8 K 5/098

C 0 8 K 5/18

B 6 0 C 1/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月18日 (2013.6.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも、ジエンエラストマー、補強用充填剤、架橋系、0.2phrと10phrの間の量の酸化防止剤および0.2phrと10phrの間の量のクロム(III)アセチルアセトネートを含むことを特徴とする、ゴム組成物。

【請求項 2】

前記ジエンエラストマーが、ポリブタジエン、天然ゴム、合成ポリイソブレン、ブタジエンコポリマー、イソブレンコポリマーおよびこれらのエラストマーの混合物からなる群から選ばれる、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 3】

前記補強用充填剤が、カーボンブラック、無機充填剤、およびそのような充填剤の混合物からなる群から選ばれる、請求項 1 または 2 記載の組成物。

【請求項 4】

前記補強用充填剤の量が、30phrと150phrの間の量である、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1

項記載の組成物。

【請求項 5】

前記架橋系が、イオウおよび促進剤をベースとする、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 6】

前記クロムアセチルアセトネートの量が、0.3phrと6phrの間の量である、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 7】

コバルト塩をさらに含む、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 8】

前記コバルト塩が、アピエチン酸塩、アセチルアセトン酸塩、トール油酸塩、ナフテン酸塩、樹脂酸塩、およびこれらの化合物の混合物からなる群から選ばれる、請求項 7 記載の組成物。

【請求項 9】

前記酸化防止剤が、置換p フェニレンジアミン、置換ジフェニルアミン、置換トリフェニルアミン、キノリン誘導体、およびそのような化合物の混合物からなる群から選ばれる、請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 10】

請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項記載の組成物を含むタイヤ。